

2023年4月10日
日本商工会議所
東京商工会議所

2024年度卒業・修了予定者の就職・採用活動日程に関する 考え方について

[採用選考ルールの意義について]

- 採用選考ルールの主旨は、就職・採用活動の早期化・長期化の抑止による学生の学修時間の確保にある。「人への投資」の重要性が高まる中、当所としても、全国の商工会議所及び会員企業に幅広く周知し、順守を呼びかけていく。
- 他方、内閣府および文部科学省の調査では、大半の企業が定められた日程より前に選考を実施している実態が明らかとなっており、ルールの形骸化は否めない。学生の考え方やニーズも多様化しており、改めて学生、教育機関、地方・中小を含む企業の実態・ニーズを調査・把握し、一律のルールを設定する意義について検討することも必要と考える。

[インターンシップの採用選考活動への活用について]

- 2024年度（2025年3月）の卒業・修了予定者より、一定の基準に準拠するインターンシップにより取得した学生情報を採用選考活動に活用できることとなる。インターンシップは、学生の就労意識の向上やミスマッチによる離職防止への効果が期待できるとともに、中小企業にとっては自社の魅力を学生に伝える貴重な機会となり得る。
- 政府は、学生の就業体験という本旨に即したインターンシップの普及促進を図るとともに、マンパワーやノウハウが限られる中小企業に対して、プログラムの企画・立案に関する助言・指導や、大学との連携・交流機会の提供等の支援策を講じていただきたい。

[専門性の高い人材に関する採用日程の弾力化について]

- 2025年度（2026年3月）の卒業・修了予定者については、「専門性の高い人材に関する採用日程の弾力化」が検討されている。専門知識・技能を有する学生等について、一定の基準に準拠するインターンシップの活用を条件に6月以前の選考を可能とするものだが、選考日程に一部特例を認めることは、学生・企業の混乱を招くおそれがあり、採用選考ルールの形骸化を加速することも懸念される。
- 学生の学修時間の確保という本旨を損ねることのないよう、インターンシップ募集時の開示要件のあり方等を含め、大学や事業主団体と十分な協議を尽くすことが求められる。

以上